組みが必要です

番足かせになっているの

て使うことができるという仕

げてくれる製薬メー

ちんとあって、

医者が安心

こういった状況を国は放っらなくなりつつあります。

ておいてよいのかと私は言

家が良品質の薬草を作れば、

米でも需要が伸びて、結果と薬市場が急成長し、さらに欧

みがなければいけません

なければいけません。農きちんとした安心の仕組

で
3割ほど下がっています

それを正当に評価して買い

現場までつながる全体とし生産から漢方薬の製造、医療

です。
作るためのいい原材料提供するためには、い

い原材料が必要には、いい薬をか、いい医療を

こうした漢方の特性を考え

のです。

リューチェーンと

治すことですが、

強で、

品全体の市場からみれば

000億円前後ですが、医薬用漢方製剤のマーケットは1は薬価問題です。日本の医療

対談シリーズ 加藤一郎と、 その素晴らしき 仲間たち



慶應義塾大学医学部 漢方医学センター副センター長 診療部長、准教授

わたなべ・けんじ 昭和59年慶應義塾 大学医学部卒業、平成2年4月東海大学 医学部免疫学教室助手、3年12月米国 スタンフォード大学遺伝学教室ポスト ドクトラルフェロー、5年12月米国ス タンフォードリサーチインスティ テュート分子細胞学教室ポストドクト ラルフェロー、7年5月北里研究所東洋 医学総合研究所、13年慶應義塾大学医 学部東洋医学講座(現漢方医学セン ター) 准教授 現在に至る。

日本内科学会内科専門医、米国内科 学会上級会員、日本東洋医学会専門医・ 指導医、日本東洋医学会副会長、和漢 医薬学会理事、日本統合医療学会理事、 (財)日本漢方医学研究所評議員、日本 医学教育学会代議員、社会保障審議会 統計分科会委員、厚生労働省統合医療 のあり方検討委員会委員、Director of the Board, International Society for Complementary Medicine Research,

の適正な価格形成を

す。先ほどのバリューチェーは10兆円産業となっていまは0兆円産業となっていまみれ、今では医薬品、健康食

ことです。 国際戦略にも力を

渡辺賢治氏 プロフィール

漢方との

融合が

日本医

知ってほしいと思います。皆様に生薬のことをもっ 生が出演されたNHKテレビ けられました。 「クローズアップ現代」 私は驚くと同時に勇気 と思います。 機構) れば売れる。 5月の 人と聞きま 日本では ″ に対し韓国55人 療 0 特徴

しないというのは明らかでも国際標準を取らないと普及 渡辺 いくらものが良くて

特徴であり、

に依存しています

しわ寄せがいき、高齢化も相引き下げは、生産農家にその動きもありました。薬価基準 え、生薬の生産基盤は弱体化 まって栽培をやめる農家が増 方薬を保険適用 加 藤 行政刷新会議では漢 から除外する

には良質な国産の生薬の増産は、日本の漢方の発展のため一方、勇気づけられたの

医療現場から排除される可能

性もあるというのです

なれば日本の漢方は、

ように取り組んでおり、そう国は中医学を国際標準とする

に瀕していることです。

再生は日本経済の再生だと話

が不可欠であり、

が融合したのが日本の医療の驚きは、最先端医療と漢方 い統合医療のモデルであ その知的財産が、 世界でも比類の 危 視できない課題です。強いのですが、国際標準は無 民をあげた姿勢が現れていま 韓国の国家戦略として官 会議の出席者は日本197のISO (国際標準化 という考え方が した。ここに中 いものを作

こちったみに、日本の生薬の自ったみに、日本の生薬の自

が、逆に薬価はここ20年ほどい原材料費は上がりましたれ、その後、物価の上昇に伴れ、その後、物価の上昇に伴 て保険から外そうとしている なぜか漢方を目の敵にし 極めて微々たるもので このままでは 日本の医療が危ない

中国が国策として薬草の生産に取り組み始めてから 約20年。国内市場だけでなく、欧米からの需要も伸 びて、今では10兆円産業に急成長している。日本は というと、生薬の自給率は13%程度にまで下がり、

める3大要素は、

要素は、武力、

システムでつな

う。

(第三種郵便物認可)

質の

高い薬草栽培が

医療

の質を高め

る

80数%を中国に依存するようになった。また良品質 の生薬は日本に入りにくくなっている。「こうした状況 を国は放っておいてよいのか」と、対談は日本農業と 医療をつなぐ論点を次々にあげて熱気を帯びた。 葉診療所の喜多所長を訪問し加藤 先日、千葉ブ学和の 治療しようとするので、お医治癒力を向上させることで、

者さんが患者を診る時間が長

調剤能力のある薬剤師が少な

も感じます。また、

漢方薬の

処方薬も薬剤師

使う医師はどの程度いるので

リキュラムの中で漢方の 渡辺 大学医学部のカ

講座が必須になりまれ

教育の成果もあり、

いとのことでした。

漢方薬を

へ間が本来持っている自然 感じたことは、 漢方の診療

面からみると、

し医療を効率化という視

のかと疑問

千葉大学柏の

師

O

9

万薬を使

つ

7

11

今では医師の9割が漢方 うでは医師の9割が漢方

で安かろう悪かろうの生薬を

国産化は急務です。 能性も

原の上 田にある真田記念館 いたのですが 生薬の

薬を兵士に飲ませて、衰えたも朝鮮出兵で篭城した時に生 はなかったかと思いました。食糧(米)、医療(生薬)で かったそうです。 加藤清正渡辺 徳川家康も生薬に詳

です。多くのがっていない人間の体は 前と変わ に気づき始っ 基本的に

統中国医学の 前の『傷寒込 ら我々は が変わってい 読むのです。 論』という本(伝 まだに1800年 の古典)を基礎に

化して本質的に体 いれば傷寒論は通

日

本の薬草生

産

0

危

その一方で漢方は認

てみれず、「「産地がありました。考え産地がありました。考え 探っていた。武田家の車投て、各大名の動向を 家臣を生薬の行商に行 併せて 腎臓は診ら が出てきました。専門家イ ル細分化です。 れないという医者臓は診られるが、 代医学は専門分化

民の医療に使い、

めました。 いと機能しないの 人間の体は何千年 の医師がこのこと いません。だか 資額はどれくらいですか。 方薬が注目されていますが、 す。 米国の場合、漢方などへの投 して年間300億円くらいで 渡辺 加 藤

ます。しかし、中国韓国の力増えて10億円くらいついてい 渡辺 加 藤 民主党になってから 日本は?

界、

取り組みが求められています

各行政の知見を結集した

ても昔の漢方が使えるというのです。現代病のように見え されたシステムなんでしょ のは不思議なことではありま せん。人間の体は恐らく完成 も及びません。

の入れように比べれば足下に

ース同様に戦略物資化人

予防医学としても漢 補完代替医療全体と 生産は、 に変えるチャンスが訪れまし 料である薬草を良質の国産品 れてきた今日、その生薬の原 えていますが、漢方が見直さ 生産は、今、存亡の危機を迎 の時代まで遡ることができま 療を支えてきた我が国の薬草 採取栽培の歴史は出雲風土記 加 藤 6次産業化も踏まえ各業 明治時代まで日本人の医 我が国の薬用植物の

ありがとうございました。 今日は貴重なお話を頂き、

医 割 が

WHO ICD改訂委員会委員 くべきです。 質の薬草には 価されると 農家の契約 薬草 製 良我 にはプレミアムがつることが多い。良品約で時給の形で支払 受質なものが高く評が国には薬草市場 薬メー

いう仕組みがあり

り、業界の自浄作用も必要で売って儲けている業者もあ

業界の自浄作用も必要で

これらのことを考える

農水省ですし、

医薬品産業は

ンを考えた場合、生薬生産は

カーと栽培

当に評価されるように、大本と、良質な生薬が流通して正

ではないかと思います。の法律を見直す必要があるの

ランドデザインが立ちにくいです。漢方の将来を考えたグ

環境にあります。

厚労省ですし、産業は経産省

す。病院経営の効率化とい調剤するので時間がかかり 効率が悪い る かりま なくてはならないと考えま を形成する メカニズムを考え 薬草の適正価格

くされ、生芸 薬の卸売会社のコストが知 薬・重金属のビリティー す。今では安す。今では安す。薬事法、す。薬事法、 なかで、 高騰と薬価 、生薬卸業から撤退す、逆ざや販売を余儀な のところがありま ります。その一方工薬卸業から撤退す を加算されます。 生を要があり、 その分 安全性や 基準の引き

下げの 社も中国産薬草の のチェックをきち になっているかど が重視され、農 日本薬局方が今 しゃるとおりで ですね。厚労省の生薬担当課 課というのですから驚きましの名前が監視指導・麻薬対策

とかデュー す。今までは中医学をやって大学から話が持ち込まれま は大きな魅力なんです。私な欧米では、産業として漢方薬 欧米では、 んかのところへもハーバード 渡辺 なっていませんね。 クとか海外の一流

構築する体制になっているの 要員も含めて国家戦略を 加 藤 また中国は生薬をレ

に負けないと思います。 た形で国家戦略として日本が する国も出てきています す。欧州も同じで健康被害を ンスをねらうなら今だといえ 技術を上げるだろうからチャ 省庁タテ割りをはずり

生薬で士気高めた戦国時代

タテ割り行政の影響 起こしたりする中医薬を排除 方薬を使いたいというのでいたが、品質の高い日本の漢 中国もそのうちに

っよ」といった使いい、 、 とういう薬 にが、 でれは「 西洋 にが、 でれは「 西洋 **漢方医学そのもの** です。 大限の効果が発揮できるから 方医学の理論で使ってこそ最

の薬の代

です。なぜならば漢方薬は漢いません。そこが大きな問題 には漢方医学の本質がみえて 「代わりの薬」を出す人たち

るかという課題もあります。 種に近い。 ん。その点、薬草はまだ野生 した人の話はあまり聞きませ 渡辺 中国に政府機関がで ことをどう打破す

り組んだのはまだ20数年前のきて国策として薬草生産に取 競っていますが、薬草に投資物の品種改良に巨額な投資を

きたいのは に勉強でき こる体制ができつつこムに入れ、6年間 ここで指摘してお はうも漢方をコア

が普及したわけではありませ

加 藤

種苗会社は野菜や果



代表取締役 加藤一郎氏

かとう・いちろう 昭和24年生まれ。 昭和46年全農入会。59年米国全農燐 鉱(株)副社長、平成10年本所肥料農 薬部次長、11年本所総合企画部長、14 年常務理事、17年専務理事就任、17年 代表理事専務、23年退任。現在、農業 経営法務研究会座長、ジュリス・キャタ リスト代表取締役。

プロフィール

を発揮する現代的なものなのルギーといった病気にも威力

ター長は漢方を学びたくて漢方医学センター副セン渡辺賢治慶応大学医学部 は漢方に 医学部 本東洋 /な-2万2000名に比べ2医40万人、韓国の韓 く苦労されたと聞いれに理解がある先生が Bに入学したが、当時 Kは漢方を学びたくて は統合医療としての 医学会の専門医は約 る医者は少ない。日 まだまだ漢方医を 注目されてきたと 中国の中医学

る。

漢方を国家戦略にするべき で、治療の幅を広げ、欧米洋医学と組み合わせること り、我が国の「漢方」は西 からも注目を集めてきてい 渡辺先生は、 我が国は

し、中国の中医学と異なり億円にすぎない。しか比べ我が国はまだ約130 医薬品の市場規模も中国2 ると圧倒的に少なく、その 韓国5000億円に 性を熱く語った。 としての法律を連携させて 療の連携、また、その触媒 の良質な薬草の増産の必要であり、そのためには国産 「農・医・法連携」の重要 対談を通じて、農業と医

大きいと考える。(加藤) れている。そこにはJAグ 略を構築することが求めら タテ割りを打破した国家戦 通じて行政、 性を痛感した。その連携を ープの果たすべき役割が 学問、業界の